

令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
国語	現代の国語	2	1-2~1-7

1. 学習の到達目標

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・生涯にわたって我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して公平に他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図をつかむ 「目指す世界の地図を作る」 「ものづくり」 ・文章の展開を把握する 「時間とは何か」 「地球を旅する水の話」 基本的な学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野で学びを深めることにより、未来の自分をイメージできることに気づく。 ・指示内容を正しく読み取ることで筆者の考えを読解し、ものや他者に対する自身の態度を振り返る。 ・時間という概念を知り、人間や人間を取り巻くものについて多角的に理解を深める。 ・水の循環を知ることによって世界とのつながりを意識し、環境問題や身近な水利用などについて考える。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・対比を読み取る 「水の東西」 「里山物語」 ・コミュニケーションと言葉 「世間話はなぜするか」 ・言葉の働きをとらえる 「コインは円形か」 基本的な学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と西洋の文化や感性のあり方を比較することが、日本を知り世界との関わりを考えることにつながる ・人間にとって自然とは何か、過去の自然との関係をふまえながら今後の付き合い方を考える。 ・日常的で具体的な素材をもとに、人間関係を円滑にするコミュニケーションと言葉について考える。 ・人間の認識は一面的である場合が多いが、それをどのように打開するかを、筆者が考える「レトリック」を通して学ぶ。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の考えを比較する 「科学と非科学」 ・根拠を読み取る 「『差』という情報」 「『わらしべ長者』の経済学」 基本的な学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学的姿勢」を知ることによって、自らの疑問や課題に対する正しい向き合い方に気づく。 ・筆者の「差」に関する考察を正しく理解するとともに、随想としての面白さを味わう。 ・経済学で扱われる事象の具体的な解説により、経済学的な考え方への興味を喚起し、理解を深める。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期テスト、提出物、授業態度による。
------	--------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価の内容	習得した知識、技能を既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技術を習得したりしている。	国語科の知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけている。	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新編 現代の国語（数研出版）
副教材	常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）